

緑地・環境デザイン学特論 (2単位)

担当者氏名 熊谷洋一・小林 章・金子忠一・山崎元也

◆学習・教育目標

緑地・環境のデザインは、身の周りの空間から国土空間にわたる多様な空間を対象としている。持続可能な環境を計画的に保全・創造するための、自然、文化、景観、エンジニアなどの多面的な観点から、自然と人間の共生する環境デザインの理論と技術について修得する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

地域環境	景観形成	公園・緑地	デザイン
自然・緑	評価手法	エンジニアリング	施設設計

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	緑地・環境創成のための デザイン理論 (1~10)	・「The Design of Forest landscapes」の読解を通じて学ぶ。 (Design principles/ Concepts of Forest Design The broad landscape/ Elements of Diversity/ Forest shapes/ External margins of the forest Edges/ Design of open space/ Change of species Visual impact of forest operations/ Felling and restocking/ Roadsides and recreation/ Small woods and shelterbelts/ The landscape design process Design techniques/ Management of landscape design projects)	テキストを予習
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11	緑地・環境創成のための エンジニアリング理論 (11~15)	・ランドスケープ・エンジニアリングの実務を通じて学ぶ。 (デザインとエンジニアリング・/施設材料とデザイン/ 構造部とデザイン)	
12			
13			
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

『The Design of Forest landscapes』ほか

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

/ / ()

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

小テスト(30)、レポート課題(70)として評価する。

◆その他受講上の注意事項